

# 新! 中央公民館ができるまで 04



山の上から大きな丸太を運ぶために現場につくられた仕掛け

## 新しくできる中央公民館の愛称の投票を行います!

新多賀町中央公民館の愛称募集へのたくさんのご応募ありがとうございました。1ヶ月ほどの応募期間でしたが、236件ものご応募をいただきました。今後、選考委員会で優秀作品数案を選びます。そして、選ばれた作品を町内の各校園・公共施設に掲示し、小中学生や町民の皆さまの投票により愛称を決定します。これからの多賀町の未来を考えるまちづくりの拠点にぴったりの名前への投票をお願いします!

投票期間：3月中(予定) | 投票場所：町内小中学校、町内公共施設



## 公民館の未来って? こんな場所を目指しています! vol.04

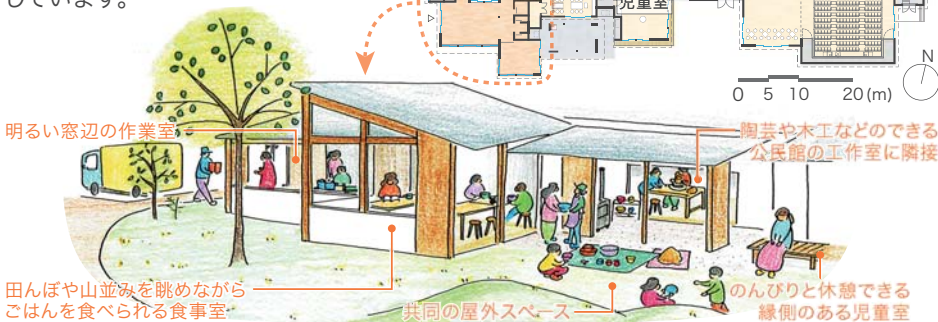
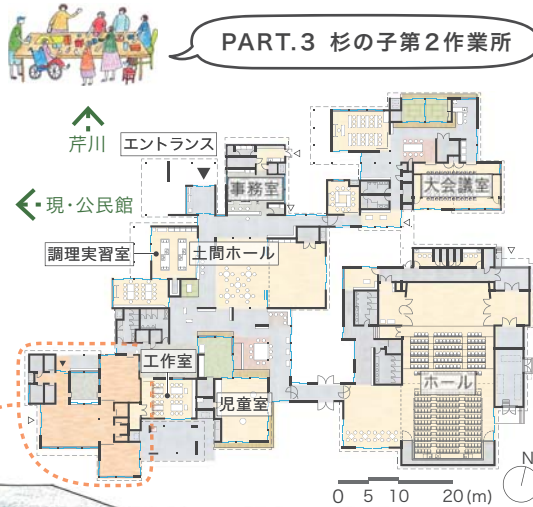
裏面にあるように、12月9日(土)に視察研修に行きました。この研修の目的は2つ。ひとつは、福祉施設「たんぼの家アートセンターHANA」と「Good Job! Center KASHIBA」を視察し、新しい中央公民館と杉の子作業所さんとの「これから」を考えるため。ふたつめは、地域コミュニティの拠点として活躍する「二名公民館」を視察して新公民館のあり方を考えるためです。

福祉施設では、それぞれの個性を活かして、アート、福祉、ビジネスをうまく連動させて活動されている様子を見て、福祉と公民館の関係を考えていくうえでの勉強になりました。二名公民館では、当日開催されていた「おもちつき大会」に参加し、地域の方を中心に運営されている様子や、子どもからお年寄りまでイキイキとされていた様子から、地域に密着した公民館の姿を学ぶことができました。

この視察研修を通して、新公民館のイメージをふくらませることができました。視察で学んだことを、新公民館の運営にも活かしていければと思います。(多賀町 生涯学習課)

## 新しい中央公民館にはこんな場所があります

新しい公民館の明るく見晴らしの良い南側には、障がいのある方とともにさまざまな仕事や活動に取り組む、杉の子第2作業所があります。公民館の工作室や展示スペースとも隣り合っており、作品制作の連携や交流が生まれ、日々をより楽しく豊かに過ごせるような場所を目指しています。





## 新中央公民館へのヒントを探しに、奈良へ研修に行きました！

中央公民館運営準備部会「多賀語ろう会」では、地域コミュニティの拠点として学びの輪づくりを行う「二名公民館」、そして障がいのある人との活動に取り組む「たんぼぼの家アートセンター HANA」と「Good Job! Center KASHIBA」を訪れました。二名公民館では青空の下で、「おもちつき大会」や「おはなし会」が開かれ、子どもから大人までたくさんの人々が集まるとともに、広場で遊んだり本を読んだりと思いの時間を過ごしていました。HANAやGood Job! Centerでは、メンバーの個性あふれるアート作品や、多様な人々の交流によって生まれる商品開発・はたらき方に触れました。新中央公民館にも、一人でも大勢でも、それぞれが居心地の良い場所を見つけられる空間を計画しています。今回の研修を活かし、町の新たな魅力の発見や発信にもつながる公民館を目指します。



Good Job! Center KASHIBAの様子

### こんな場所に行きました！

#### ①「学ぶ・集う・結ぶ」二名公民館

四季折々に変化する豊かな自然のなかにある公民館です。山田館長によると「1人で来てもみんなで帰れる」がコンセプト。多様なイベントのほか、料理・スポーツなど約40もの自主グループが連携しながら活動しており、子育てや介護などのお知らせが集まる地域の情報ステーションとしても機能しています。近くには幼稚園や小・中学校もあり、多くの町の方々が利用する社会教育・生涯学習の拠点となっています。



町の方々によるおもちつき大会



公民館の前にある広場で遊ぶ子どもたち



本を読みながらくつろげるロビー

#### ②たんぼぼの家 アートセンター HANA

すべての人がアートを通じて自由に表現し、互いの感性を交感できる場所です。さまざまなアートに取り組むスタジオ、表現を紹介するギャラリー、交流の場としてのカフェ&ショップなどがあります。



各々の方法で制作を行うHANAのスタジオ

#### ③「つくる」「はたらく」「発信する」が一体となった場 Good Job! Center KASHIBA

さまざまな商品の開発や制作、またその商品の流通拠点となっている南棟と、日中の活動を支援するデイサービスの場である北棟の2棟からなる場所です。利用者やスタッフがその日の活動に合わせて少し離れた2つの建物を行き来することによって、まちの風景を変えるきっかけにもなっています。



商品づくりや流通、販売の様子をヒアリング



デジタル機器と手仕事をあわせた商品制作の様子

## 杉の子作業所の皆さんとともに取り組む新しいモノづくり

新しい公民館建設をきっかけに、町に新しい仕事や取り組みが生まれると良いと考えています。そのうちのひとつが、杉の子作業所さんメンバーの創造力を生かしたモノづくりプロジェクト。1月24日に中央公民館の工作室を使って、皆で大きな壁紙に自由に色を塗るワークショップを行いました。色とりどりで楽しい様々な模様が生まれ、これらをつかってオリジナルの布地をつくり、新中央公民館のカーテンなどに展開出来ないか思案中です。



出来上がった色とりどりの模様



さまざまな人たちが一緒に制作



皆で大きな壁紙に集まって色を塗る様子